

令和元年度岐阜市自然環境保全推進委員会

第2回 保全・再生部会 議事概要 (2月14日)

審議事項

(1) 外来種対応指針の検討

- ・現場レベルでの外来種対策は難しいため、外来種対応指針は、“市民啓発”に重点を置いて検討を継続する。
- ・(仮称)優先的に対策すべき外来種リスト案については、実際の被害状況や市民で対応できることなどについて検討しながら、リスト選定種の再検討が必要。

(2) 自然情報調査及び次期レッドリストのあり方の検討

- ・自然情報調査について、市は公的な資料の収集、各種情報の提供などを積極的に行い、調査を推進する。
- ・現地調査は分野ごとに適した対象種の選定や調査方法を見直しながら、調査を進める。
- ・次期レッドリストは、“レッドリスト”という名称を根本的に見直し、国や県のレッドリストの概念にとらわれず、市民啓発や行動のきっかけとなるような“岐阜市版”を目指す。
- ・次期レッドリストの策定には専門家の意見だけでなく、行政の視点も取り入れながら検討を進める。